



防災対策として橋梁震災対策を実施します

昨年度の成果

平成17年度は、予定通り対策を実施することができたため、目標を達成することができました。

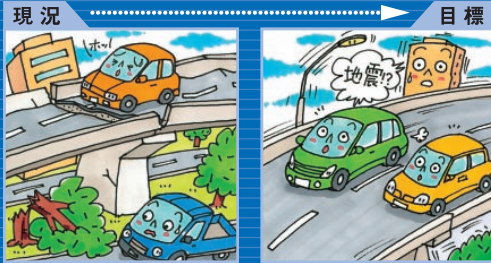
代表的な事業	評価	事業の説明
細野橋(上下)(一般国道54号)	😊	落橋防止装置の設置、橋脚補強(コンクリート巻き立て)を実施しました。
布原橋(上下)(中国自動車道)	😊	橋脚補強(コンクリート巻き立て)を実施しました。
三次大橋(一般国道54号)	😊	落橋防止装置を設置しました。
新五龍橋(一般国道54号)	😊	落橋防止装置を設置しました。

※評価マークの説明は18ページを参照してください。

今年度の取り組み

平成18年度も引き続き『緊急輸送道路^{※1}の橋梁耐震補強3箇年プログラム』として第1次緊急輸送道路(都道府県等管理道路については優先確保ルート)にある橋梁の耐震補強を実施し、特に優先的に耐震補強を実施する必要がある橋梁について、平成19年度までにおおむね完了するよう対策を推進します。

代表的な事業	事業の説明
尾関大橋(一般国道54号)	橋脚補強を実施します。
平野橋(上下)(一般国道2号)	橋脚補強を実施します。
臥竜橋(上下)(一般国道2号)	落橋防止および橋脚補強を実施します。



橋梁震災対策率の指標

H15 基準実績

22.2%

H17 達成
目標 29.7% ▶ 実績 29.8%

H18 目標

32.6%

H19 目標

34.4%

昨年度の達成度

新五龍橋(一般国道54号)



- 目的** 古い設計基準の橋梁の耐震補強。
- 対策** 落橋防止装置の設置により、阪神・淡路大震災クラスの地震に耐えられる構造にしました。



緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム

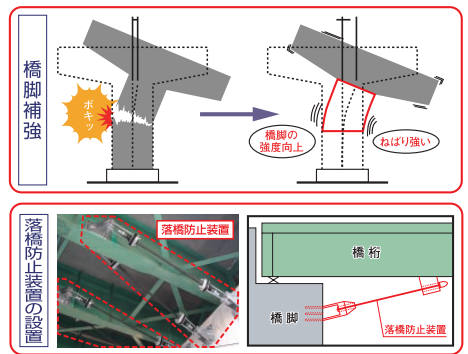
緊急輸送道路のうち、平成7年の阪神・淡路大震災等での橋梁の被災態を踏まえ、昭和55年道路橋示方書より古い基準を適用した橋梁等で、特に優先的に耐震補強を実施する必要がある橋梁について、平成19年度までに概ね完了するよう対策を実施します。

目的

落橋などの大きな被害を防止し、緊急輸送道路としての機能確保を図ります。

対策

阪神・淡路大震災クラスの地震に対しても橋梁の損傷を限定的なものにとどめるよう、橋脚補強・落橋防止装置の設置を行います。



平成18年度の取り組み

臥竜橋(一般国道2号)

- 目的** 古い設計基準の橋梁の耐震補強。
- 対策** 橋脚補強及び落橋防止装置設置により、地震時の橋脚の倒壊及び橋げた落下を防ぎます。

